



このところ、朝晩の冷え込みが強くなってきました。短い秋が終わろうとしているのかもしれませんが、年々、春と秋が短くなっていく気がします。今年も9月、10月と、台風や大雨による被害が日本のあちこちで起きました。今も元の生活に戻れない人たちがいます。明らかに異常気象が進んでいると感じます。

さて、11/5(火)は「津波・防災の日」でした。学校では放送を通じ、保健委員長の生徒から「防災についての意識を持とう」と呼びかけがありました。大和市は海に面してはいませんが、市内では川が流れている地域や低くなっている場所もあり、場所によっては浸水の可能性も考えないといけないかもしれません。日頃から、自宅周辺や、学校の行き帰りに通る道をハザードマップ等でチェックし、防災意識を高めていかなければならないと思います。いざという時、自分や周りの人を助けられるよう、準備しておきたいですね。

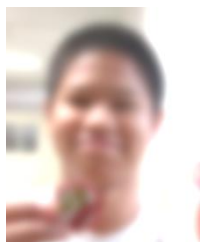
交通安全教室がありました

10月24日(木)5校時、交通安全教室が行われました。本校グラウンドにて、スタントマンによる事故の再現によって事故の恐ろしさを実感し、交通安全の大切さを切々と感じました。3年生からは、3名が代表として交通事故を体験しました。



301生徒1さん

今回、自分が実際に体験したことで、あらためて事故の怖さを感じました。体験した時は、自分のダミー人形がつぶされていたので、自分もそうなるのではないかと、とても緊張しました。これからは、今回の体験で学んだことを生かして生活していこうと思いました。



302生徒2さん

目の前で起きた事故を見て、すぐに反応することができませんでした。なので、自分の近くで交通事故があったら、素早く行動し、事故に遭った人の適切な処置をしてあげたいです。



303生徒3さん

今回、交通事故の第一発見者として、近くで見えていたけれど、すごく怖かったです。しかし、一生のうちでそんなにたくさんある体験ではないので、今回の交通安全教室で大切な体験ができてよかったです。

感動！芸術鑑賞

10/25(金)5、6校時、本校体育館にて芸術鑑賞を行いました。

お芝居の上演に先立ち、3年生4人(生徒4さん、生徒5さん、生徒6さん、生徒7さん)が劇団の方の指導を受け、演目「キジムナーの約束」の予告編を朗読劇として披露しました。短時間しか指導を受けていないにもかかわらず、素晴らしい朗読でした。



そしてなんと！4組の生徒8さんは「サキ役」として出演も果たしました。(写真左端)

304 生徒8さん(サキ役)

今回、劇に出させていただいて、多くの「初めて」を経験しました。まず、お芝居当日にセリフや動きが追加されたことに驚きました。あんなにたくさん出演できるとは思っていなかったのだから不安でした。しかし、演者のみなさんが優しくフォローしてくれたおかげで不安も吹き飛びました。いつも見ている物語の裏で、みなさんが助け合って作り上げているから、あんなにキラキラ輝いた世界が作れるのだと感銘を受けました。

304 生徒4さん(朗読劇)

演劇教室に参加させていただいて、演者さんの体操や発声練習はとても地道で大変なんだなと感じました。また、朗読劇の練習の時に、たったひとつのアドバイスで声の飛び方が変わって、素人なのにこんなに上手くできるようになれるんだと驚きました。

305 生徒5さん(朗読劇)

私は最初、「読むのは得意だから、やってみよう」と思って参加しました。しかし、リハーサル・本番にかけて、それが甘い考えであったと気づきました。今回の体験で、今まで観ていた劇の見方が変わったし、「役者の人、すごいな」と心から思うようになりました。本番は緊張したけれど、リハーサルより楽しく、上手にできたと思います。

308 生徒6さん(朗読劇)

朗読劇が成功して良かったです。キジムナーの仲間を思う優しさに感動しました。劇団の方々、ありがとうございました。

308 生徒7さん(朗読劇)

朗読劇というのは初めての挑戦だったのですが、劇団の方が優しく指導してくださったので、とてもいいものができました。貴重な体験ができて良かったです。またこのような機会があったら挑戦してみたいです。

文化発表会を終えて

★今回は5～8組の生徒の作文です。1～4組は次号で掲載します。

パートリーダーになって

5組 生徒9 さん

私は1、2、3年生の合唱コンクールのパートリーダーを毎年やっていました。しかし、1年の時も、2年の時も優勝賞をとることができませんでした。なので、最後の合唱コンクールでぜったい最優秀賞をとろうと思って、今年もパートリーダーになることにしました。

最初パートリーダーになった時は1、2年生とパートリーダーをやっていたので自信がありました。でも、同じアルトの子で私の話を聞いてくれない子がいたり、違うことをしている子がいたり、アルトは他のパートと比べて、ヘタでした。私はソプラノが私たちよりも全然集中して頑張っているのを見てどんどん焦りました。この焦りにたえられなくなった私は、アルトのみんなにもっとまじめにやって欲しいと言いました。そしたら、次の日からみんなまじめにやってくれました。私は自分の思った事を言う事が大切なのがよく分かりました。そこからはみんなまじめにとりくんでくれたので、アルトはどんどん伸びていくことができました。本番みんなすごく緊張していましたが、今までで一番いい歌を体育館にひびかせることができましたと思いました。結果発表のとき、クラスの仲間と頑張っている合唱をつくることのできたので最優秀賞はとれると思っていました。しかし、とることができませんでした。私はショックで涙が止まりませんでした。

教室にかえった時いろいろ考えたんですけど、とれなかったことはしかたないのでこれをバネに受験勉強も頑張ろうと思いました。そして、3年間パートリーダーをすることができて本当によかったです。最高の思い出ができました。

最後の合唱コンクール

6組 生徒10 さん

私は今年パートリーダーをやりました。決まった時は皆のことをひっぱることが出来るか不安だったし、1・2年の時のパートリーダーのようにパートの皆が理解できるアドバイスを出せるか心配でした。でも、そんな不安と心配はすぐに消えました。それはソプラノパートの皆がいっしょけんめいついてきてくれたからだと思います。しだいに練習が楽しくなってきた、私には「虹」を歌っている時間が一瞬に感じました。

この一カ月の練習は、クラスにとって運動会以上のクラスの仲を深められたと思うし、皆で協力しあえた最高の一カ月でした。優秀賞も最優秀賞もとれなかったし、けして良い結果が出たとはいえないけれど、クラス全員が一丸となってどんな結果でも笑って終われる6組は本当に良いクラスだと改めて思いました。



やり遂げた合唱

7組 生徒11 さん

私は中学生最後の合唱を全力を出しきってやりきることができたと思う。今年、私は二度目のパートリーダーになった。でも昨年より大きな不安があった。なぜなら私たちの最後の合唱コンだったからだ。泣いても笑っても最後。だから上手くパートリーダーがまとめて、効率良く練習をしなければならぬと思っていた。

練習が始まると、私以外のパートリーダーの皆のまとめ方が上手く、効率の良い練習はできていたけれど、私は皆に役立つことができているのだろうか？と思うようになった。まとめるのは下手でも、自分ができることをやろう！と思い、家でたくさん歌をきいたり、楽譜を読んだ。それから、少しずつであってもアドバイスを増やしたり、皆の意見を取り入れたりして、パートが成長していった。これはもちろんパートリーダーの皆もだが、パートの仲間が協力してくれたことでできたことだと思った。いつの間にか他パートもぐんぐん成長していて、曲として成り立つようになり、毎回歌うのが楽しくなってきた。そして残り一週間は一日一日を大切に、大切に練習を続けた。

そして迎えた本番。緊張はあまりなかった。今までは、本番になると緊張でポイントや意識する場所を忘れてしまうことがあったのに、そういったことは一回もなく、歌に集中することができて、終わった後には大きな達成感があった。今まで一番楽しんで歌うことができて嬉しかった。

結果をきいて教室に戻ると、皆朝と変わらぬ笑顔で、それを見ていたら私も、やりきったからいい！と思えた。こんな笑顔あふれる7組で大切な思い出をつくることができ、良かったと心から思う。

「やったね最優秀賞」

8組 生徒11 さん

「親知らず子知らずで最優秀賞をとろう」。この一つの大きく、また、漠然とした目標を掲げた私たちは、どんな道を歩むことになるのかまだ知らなかった。最初の頃はこの曲は壮大で難しすぎて、この先どうなるのか正直不安だった。最初の頃の私は、強弱や正確な発音・音程で歌うことばかりに気をとられていた。それも大事ではあるが、この曲は「伝える」ことが大切だと気づいた。この曲は新潟県糸魚川市の海岸で、病気の父の元へ向かう母と子が、荒波に一瞬でさらわれる事故が起こったことや、自然の雄大さ、そして悲しさをうたっているのだ。この歌詞を読み込めば読み込むほど、わかることがたくさんあり、歌いながら情景がうかびあがった。だんだんと曲が仕上がっていき、合唱コンが楽しみになってきた。

運命の10月18日を迎えた。私たちはこれまで平井先生や城所先生、小川先生に習ったことの最終確認を行い、お決まりの「千の風になって」を元気いっぱいになり、本番に臨んだ。会場の人全員にこの歌の歌詞を伝えようと思った。私は3年間で一番頑張った合唱を308で歌って、幸せ者だと思った。いよいよ始まったが、途中ピアノとずれてしまい、何とか持ち直したが、悔しい気持ちが残る合唱だった。優秀賞・最優秀賞をとれるか、不安で不安でしかたなかった。最優秀賞に選ばれた時は驚きと嬉しさと安堵で大号泣。本当に嬉しかった。

そして私は、合唱コンを通して少しだが変わったことがある。一つ目は責任感だ。私にはクラスを引っばっていけるようなリーダーシップはあまりないけれど、パートリーダーとして、308の一員として何ができるのか考え、アドバイスしたり、一回一回本気で合唱に取り組んだ。なので絶対に成功させたかったし、平井先生をシリアスに連れていきたいと強く思っていた。二つ目は「中途半端な奴は愚痴がでる」「本気な奴は知恵が出る」についてだ。実は初めは、本気でやるからこそ、やっていない人が気になって愚痴につながるのでは？と思っていたが、今回私が「本気な奴」になった結果、ソプラノのみんなと試行錯誤し、たくさんのアドバイスをし合いながら、初めてこの言葉の本当の意味がわかったのだ。

私はまだ子供なところが多いけれど、残り少ない中学校生活でもっと成長していきたい。そして308のみんなありがとう！8組最高！最優秀賞万歳！！と誇りを持って叫びたい。

保護者の皆様へ

先週は三者面談にお越し頂き、ありがとうございました。また来月も三者面談がありますが、受験に向けた最終確認の面談となります。学校では今後、面接シートの作成や、願書の作成などに取り組んでいきます。責任を持って指導させていただきますが、保護者の方のアドバイスがあれば、お子様たちもさらに安心して受験できると思います。学校と家庭、協力して受験を迎えたいと思います！よろしくご協力をお願いします。